

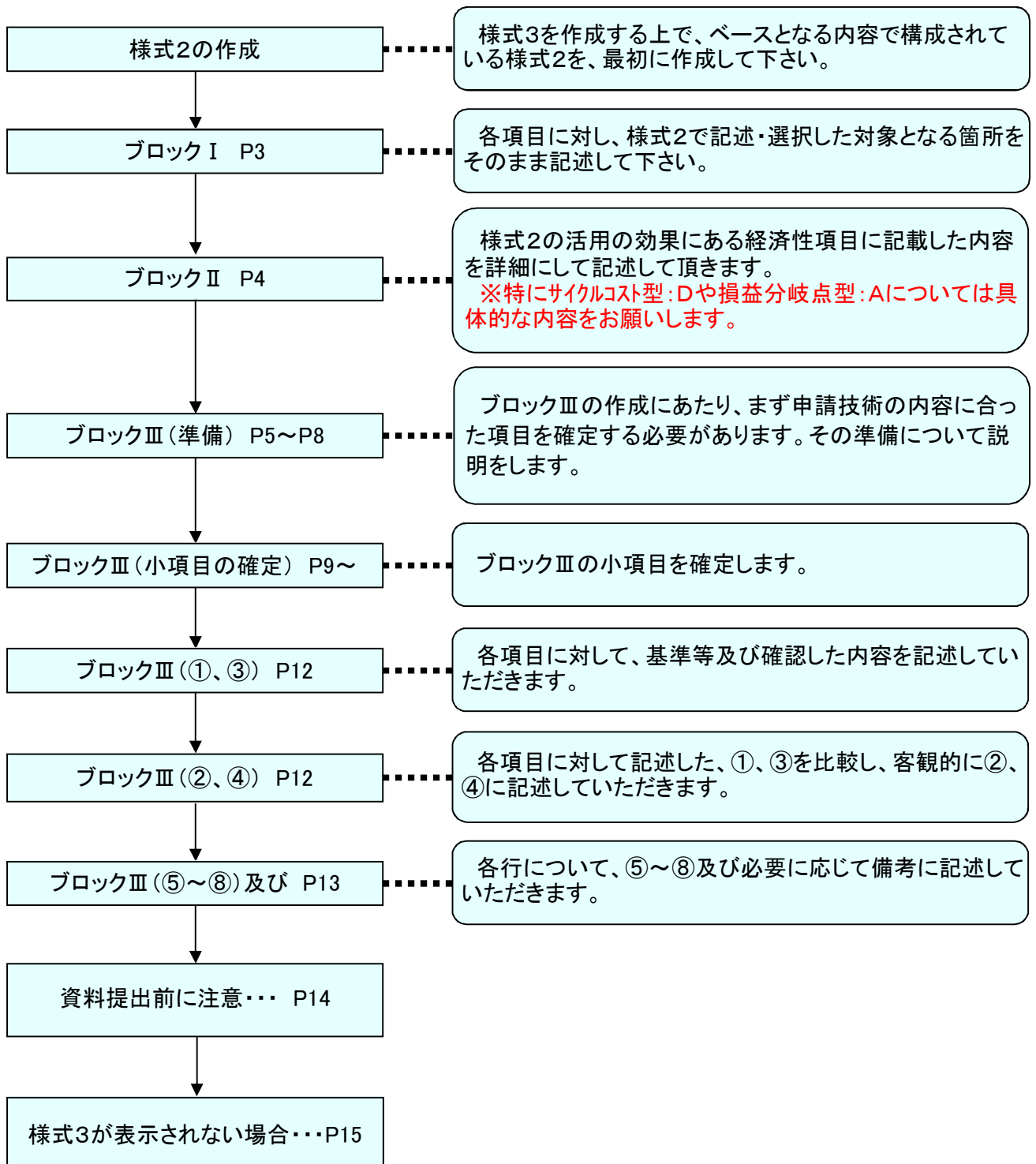
関東技術事務所 様式3の書き方のポイントについて

様式3の作成にあたり、関東技術事務所では申請資料作成マニュアル(pdf)をダウンロード出来るように整備しています。

より簡潔に分かり易く記述して頂くために、この書き方のポイントを申請資料作成マニュアルと一緒にご活用下さい。

技術概要説明資料(様式3)の目的

技術の成立性を確認するための資料で、様式2で記載された内容について、「経済性」、「安全性」、「耐久性」、「品質・出来形」、「施工性」、「環境」、その他(自由設定)の評価項目に関し、活用等を想定する工事等の各種基準類に対する、新技術と従来技術との数値等比較を記載して下さい。



技術詳細説明資料(様式3)のブロック位置について

技術詳細説明資料(様式3)の作成のポイントを説明するにあたり、便宜上この資料では、下図のようにブロック分けをしています。

技術詳細説明資料 様式3

ブロック I

特許の名称			比較対象とする従来技術	特許名称
発明の分野			発明名称	
出願の国	口出願番号	申請番号	日本特許	
出願の地方官庁	分庁			
発明の発明者の氏名	氏名	住所	氏名	住所
発明の発明者の住所	氏名	住所	氏名	住所

必要に応じて評価項目の追加を行ってください。

ブロック II

評価項目			申請者記入欄							備考
大	中	小	従来技術の Costa	申請技術の Costa	従来技術との比較結果	従来技術の従来技術	申請技術の従来技術	申請技術の従来技術	申請技術の従来技術	
経済性	インセンティブ									
	シニフィカンス									
	その他									
技術性	新規性									
	進歩性									
	工業性									
品質・経済性	品質									
	経済性									
	その他									
安全性	安全性									
	環境性									
	その他									
その他	その他									
	その他									
	その他									

ブロック III

評価項目			申請者記入欄							備考
大	中	小	従来技術の Costa	申請技術の Costa	従来技術との比較結果	従来技術の従来技術	申請技術の従来技術	申請技術の従来技術	申請技術の従来技術	
経済性	インセンティブ									
	シニフィカンス									
	その他									
技術性	新規性									
	進歩性									
	工業性									
品質・経済性	品質									
	経済性									
	その他									
安全性	安全性									
	環境性									
	その他									
その他	その他									
	その他									
	その他									

技術詳細説明資料(様式3)様式の申請用と公開用について

技術詳細説明資料(様式3)は、**申請用**と**公開用**の2種類があります。
 新規申請時は、様式3**申請用**をHPからダウンロードし作成して下さい。また、様式3**公開用**については、確認業務委託業者からメールにてお送りします。

- 【注意事項】**
 ここに記入する内容は、様式2で記載した内容を記入します。
1. 様式3は、エクセル(拡張子xls)、A3横で作成して下さい。
 2. 無理にA3横1枚で作成されなくて結構です。セルの横幅は変更しないで下さい。縦方向にセル幅を広げるにより、ページが増えるのは構いません。
 3. 大、中項目は、変更・削除をしないで下さい。
 4. 様式3を記述する際、様式2での記載内容と整合するようにして下さい。
 (様式2:活用の効果での比較結果と様式3:④従来技術との比較(結果)など)

ブロック I について

様式2を作成した際に記述した基本的事項です。対象箇所と照らし合わせながら記入して下さい。下図では、技術詳細説明資料(様式3)がA3ヨコ資料であるため、ブロック I 部分を左右に切り分けて説明しています。

様式2(申請マニュアル P4)で記述した名称と同じ内容を記入して下さい。

様式2の開発会社(申請マニュアル P4)の項目に記述した会社名を記入して下さい。
問合せ先(その他)に記載した会社名は記入しないで下さい。

更新時は、登録番号をKTから記入して下さい。
良い例 ■登録済み:登録番号【KT-130000-A】
悪い例 【150087】、【17022921】、【KG-041234】

チェックマークは■として下さい。
新規は未登録、更新は登録済みにチェックマーク等が入ることとなります。

【区分】 レベル1-レベル2

技術の名称	000
開発会社名	株式会社△△
NETIS登録番号	<input type="checkbox"/> 登録済み:登録番号[] <input checked="" type="checkbox"/> 未登録
申請先の地方整備局	関東地方整備局 関東技術事務所
分類	[レベル1:道路維持修繕工]、[レベル2:路面補修工]、[レベル3:]、[レベル4:]
使用可能な工事の種類	道路改良工事

関東地方整備局 関東技術事務所と入れて下さい。…整備局と関東…の間にはスペースを空けて下さい。

様式2の分類(申請マニュアル P3)で記述した、分類1を記入して下さい。

様式2の概要 ③公共工事のどこに適用できるのか?(申請マニュアル P6)で記述したものと同一内容を記入して下さい。

比較対象とする従来技術	技術名称	△△△
	選定理由	一般的に採用実績が多い広報なので、従来技術として××××工法を選定した。
その他		

様式2の抽象的や概要の②及び、活用の効果(申請マニュアル P6、P10)で従来技術として挙げた技術名を記入して下さい。

従来技術の選定理由を記入して下さい。
※新技術に関する内容等は、特に必要ありません。

ブロックⅡについて

様式2の活用の効果で記述した経済性にかかわる事項の詳細になります。対象箇所と照らし合わせながら記入して下さい。(下図では、技術詳細説明資料(様式3)がA3ヨコ資料であるため、ブロックⅡ部分を左右に切り分けて説明しています。)

様式2の活用の効果・経済性(申請マニュアル P11)で記述した内容(単位や数量)に合わせて下さい。また対象とならない欄については「-」を記入して下さい。

初期投資費用が施工量による単価差でペイされ、逆転する場合や、維持管理等に関わる費用を算出して下さい。
また、その費用が発生する年数や数量などがある場合や、逆転する目安や周期については備考に記述して下さい。コストタイプが**A**または**D**タイプの場合は、ここに記入して下さい。

様式2の活用の効果・経済性(申請マニュアルP11)で記述した内容(単位や数量)に合わせて下さい。

従来技術、申請技術の費用を比較した結果が何%(向上・同等・低下)になるのかを記入して下さい。

大	評価項目		従来技術のコスト	申請技術のコスト	従来技術との比較<結果>
	中	小			
経済性	イニシャルコスト	単位数量当たり	182,517.55円/0.15t	192,217.55円/0.15t	154.8%低下
	ランニングコスト	対象外	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	トータルコスト	合計額	182,517.55円/0.15t	192,217.55円/0.15t	154.8%低下

上記の内容の合計を記入して下さい。

その他の費用が発生する場合は、その他の欄に必ず記入して下さい。

算出にあたり計上した項目を記入して下さい。

従来技術・申請技術の積算条件は、様式2:施工単価で記載された積算条件・施工条件を同様に記入して下さい。(申請マニュアル P13の内容)

左記項目にない内容、特に、コストタイプが**A**または**D**タイプの場合は、ここに詳細を記入して下さい。

従来技術積算条件	申請技術積算条件	申請技術の積算方法	添付資料名・番号 (根拠データ等)	従来技術引用元	備考
施工条件 【共通】 ・道路維持工事を千葉県で昼間施工。 ・施工面積は、10箇所程度。 ・規制に係る仮設日は含まない 【従来技術】 ・〇〇材料を使用(30Kg/1袋) 積算条件 【共通】 ・施工歩係は、国土交通省土木工事積算基準(欠損部補修工)平成30年度版 ・諸経費にはコテ・レーキ・スコップ、ホウキ・振動コンバタ資料等を含む。 ・舗装版とりこわし、搬運搬・処理は含まない。 【従来】技術 ・材料費は〇〇〇〇(平成30年〇〇版)	施工条件 【共通】 ・道路維持工事を千葉県で昼間施工。 ・施工面積は、10箇所程度。 ・規制に係る仮設日は含まない 【新技術】 ・〇〇材料を使用(30Kg/1袋) 積算条件 【共通】 ・施工歩係は、国土交通省土木工事積算基準(欠損部補修工)平成30年度版 ・諸経費にはコテ・レーキ・スコップ、ホウキ・振動コンバタ資料等を含む。 ・舗装版とりこわし、搬運搬・処理は含まない。 【新技術】 ・材料費は自社単価(平成30年〇〇現在)	自社歩掛	【参考資料1】積算資料 P1	【参考資料1】積算資料 P2 国土交通省 土木工事積算基準 (平成〇〇年版PO~PO)	
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

様式2:施工単価(P13)で選択された歩掛表で選択された歩掛を記入して下さい。
例 標準歩掛、自社歩掛、協会歩掛

申請技術の積算にかかわる添付資料又は、参考資料と資料名・番号を記入して下さい。

従来技術の積算にかかわる添付資料又は、参考資料と資料名・番号を記入して下さい。

ブロックⅢ(準備)

技術詳細説明資料(様式3)の作成にあたり、NETIS(新技術提供システム)から申請技術と近い技術や似ている工種などの掲載内容を参照して、項目を確定して頂きます。

まず最初に、インターネットの検索画面でNETIS(新技術提供システム)を検索して下さい。

申請技術と同じ「分類1」で検索される場合
①「工種で検索」を選択して下さい。

申請技術と同じ「区分」で検索される場合
①「条件で検索」を選択して下さい。

NETIS(新技術情報提供システム)の画面

NETIS維持管理支援サイト
点検・維持管理に資する技術を広く情報提供することで、点検・維持管理の現場における活用を支援します。

NETIS震災復旧・復興支援サイト
震災復旧・復興に資する技術を広く情報提供することで、震災復旧・復興の現場における活用を支援します。

NETISとは
国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関する情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム(New Technology Information System:NETIS)を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。
パンフレット:公共工事における新技術活用システム
パンフレット:公共工事における新技術活用システム(開発者、施工者、コンサルタント向け)

◎「公共工事における新技術活用システム」について、この度改定を行いましたので、関係文書を掲載します。
○公共工事における新技術活用の促進について、平成26年3月28日
○「公共工事における新技術活用システム」実施要領について、平成30年5月24日
実施要領別紙

新技術情報の登録件数他
評価情報:887件 申請情報:2995件
推奨技術(5件) 準推奨技術(16件) 評価促進技術(4件) 活用促進技術(167件)
旧実施要領での技術の位置付け
活用促進技術(旧)X(9件) 設計比較対象技術(31件) 少実績優良技術(4件)

新技術の検索
キーワード入力
検索
AND条件(全文検索)
OR条件(同義語検索)
AND条件/OR条件と併用

工種で検索 **条件で検索**

分類で検索する場合

新技術の工種分類(土工・共通工・コンクリート工等)による評価情報の一覧を検索、閲覧できます。工種分類をクリックすると評価情報の一覧が表示されます。該当検索では、分類(1)と分類(2)を表示しています。新技術の工種分類の内訳がわからない場合は、「工種分類一覧表(Excelデータ)」をご覧ください。

検索対象 評価情報 申請情報

複数工種の選択
以下の項目で「複数工種の選択」を選択し「一覧表示」ボタンをクリックしてください(※選択できる工種分類は3つまでです。)
 単一分類
 複数分類

※現在、新技術情報が登録されている分類しか表示されていません。

土工
掘削工/埋戻工/敷石工/締固め工/測線工/残土処理工/安定処理工/路床改良工/軽量盛土工/施工管理/その他

共通工 レベル1
法面工/擁壁工/連続地中壁工/コンクリート仮保工/排水揚送物工/軟弱地盤処理工/深層混合処理工/薬液注入工/アンカー工/構造物に付随工/コンクリート削工/ボックスカルバート工/旧橋撤去工/かま工/情報化施工/その他

基礎工
縦管・既製コンクリート杭打設工/場所打ち杭工/深礎工/ケーソン工/縦管矢張基礎工/その他

レベル2

コンクリート工
コンクリート打設/養生/モルタル工/型枠工/溶接金網設置/鉄筋工/施工管理/その他

仮設工
仮保工/仮設設置撤去工/足場支保工/水位低下工/切土防護柵工/仮設・橋構工/汚濁防止フェンス工/仮風・設置工/濁水処理工(一船土木工事)/防塵処理工/連絡通信設備/施工管理/その他

河川海岸
消波根固めブロック/捨石工/消波工/浚渫工/軟弱地盤における養護構造門・積管/多自然型護岸工/護岸基礎ブロック設置工/野芝種子吹き付け工/締詰土工/施工管理/その他

河川維持
郷除草工/地先先端補修/郷防芝養生工/芝養生工/伏木除根工/ボートガタラコ工/成草工/その他

砂防工
土工/コンクリート工/仮設工/水替えとい工/山腹工/堤防部保護工/水路工/かま工/集配水ポンプ工/洗浄工/施工管理/その他

付属施設
防護柵設置工/潤滑ポンプキャッチャー/シャットレ/壁音壁設置/路側工/組立歩道工/橋梁付属施設設置工/トンネル内装板設置工/道路付属物

道路維持修繕工
路側り削工/舗装放散管工/舗装版切取工/道路打掃工/路上再生路盤工/アスファルト注入工/舗装版目地補修工/道路付属物塗替

舗装工
路盤工/アスファルト舗装工/コンクリート舗装工/ブロック舗装/特殊舗装工/連層カラー舗装工/施工管理/その他

共同溝工
共同溝工(現場打ち)/電線共同溝工/その他

申請技術と同じ「分類1」で検索される場合
②申請技術と同じ、「レベル1」から「レベル2」を選択します。

ブロックⅢ (準備)

申請技術と同じ「分類」で検索される場合

③「レベル3」まで絞り込む場合は、該当するものを選択して下さい。(「レベル4」まで絞り込む場合は、「レベル3」選択後のページで該当するものを選択して下さい。)

分類で検索する場合

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 | NETISのRSS | RSS | サイトマップ

工種検索 - 検索結果一覧

共通工 → 深層混合処理工 → **固結工/ 施工管理/ その他** レベル3

検索されたデータを条件で検索で絞り込めます。

33件検索されました (1件目から10件目を表示中)

技術名称をクリックすると技術の詳細な内容が表示されます。さらにここからキーワードで新技術を絞り込むこともできます。

キーワード

NOT検索

※ NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

比較する技術の選択

★マークは、該当する項目に登録があることを意味します。

技術名称(登録番号)	事前審査	活用効果評価	技術の位置付け	備考
タイガートライル工法 (CB-120004-A)				
地盤改良機誘導システム (OG-120020-VE)			主	[活用促進]
グランドロコン α (OG-140019-A)				
FTJ-FANT 法 (HR-140015-A)				
MRC工法(山留めタイプ) (KK-120042-A)				

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 | NETISのRSS | RSS | サイトマップ

工種検索 - 検索結果一覧

共通工 → 深層混合処理工 → 固結工 → **前体噴射掘削工/ セメントミルク掘削工/ 高圧噴射掘削工/ その他** レベル4

申請技術と同じ「分類」で検索される場合

④「分類」選択後、収集整備局を「関東地方整備局」にする為に、キーワードに「KT」を記入し、検索ボタンを押して下さい。

区分で検索する場合

申請技術と同じ「区分」で検索される場合
②収集整備局を「関東地方整備局」にする為に、キーワードに「KT」を記入して下さい。

申請技術と同じ「区分」で検索される場合
③申請技術と同じ、「区分」を選択します。

システムと区分した新技術は、

- ①既存または新たな技術をいくつか組み合わせ、活用にあたりシステム化したもの
- ②機械を制御するあるいは調査などに使用するパソコンのソフトなどが主たる新技術であるものの2種類に大別されます。

申請技術と同じ「区分」で検索される場合
④キーワード入力、区分選択後、検索開始ボタンを押して下さい。

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 | NETISのRSS | RSS | サイトマップ

条件で検索

条件で検索(詳細版)

キーワードによる全文検索等ができます。複数項目に入力した場合は全てAND条件となります。

検索対象 評価情報 申請情報

キーワード入力

NOT検索

※ NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

全文検索 ※ 初期設定は全文検索です。以下の項目を選択すると選択した情報項目だけの検索を行います。

概要 新規性及び期待される効果 施工方法 施工単価 適用条件 適用範囲

検索オプション ※ 必要な項目のみ選択、入力してください。

登録No. 技術名称

開発会社 開発年 ~ (半角入力。例:1997)

技術の区分 工法 材料 機械 製品 システム

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開発しております。

シフト/著作権等について

Copyright 2004, New Technology Information System.All Rights Reserved.

ブロックⅢ (準備)

さらに詳細な条件で検索する場合は、「条件で検索(詳細版)」をクリックして下さい。

条件で検索(詳細版)の場合

NETIS 新技術情報提供システム
New Technology Information System

NETISとは | 新技術の検索 | 新技術の最新情報 | 新技術の申請方法 | NETISのRSS | RSS | サイトマップ

条件で検索

条件で検索(詳細版) 検索結果一覧項目の設定

キーワードによる全文検索等ができます。複数項目に入力した場合は全てアンド条件となります。

検索対象 評価情報 申請情報

キーワード入力 登録番号でも検索できます。

NOT検索 ※NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

全文検索 ※初期設定は全文検索です。以下の項目を選択すると選択した情報項目だけの検索を行います。

概要 新規性及び期待される効果 施工方法 施工単価 適用条件 適用範囲

検索オプション ※必要な項目のみ選択、入力してください。

登録No. 技術名称

開発会社 開発年 ~ (半角入力。例:1997)

技術の区分 工法 材料 機械 製品 システム

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開発しております。 プライバシーポリシー / 著作権等について

Copyright 2004, New Technology Information System All Rights Reserved.

検索オプションの必要な項目に記載もしくは、選択して検索開始ボタンを押して下さい。

条件で検索(詳細) 検索結果一覧項目の設定

キーワードによる全文検索等ができます。複数項目に入力した場合は全てアンド条件となります。

検索対象 評価情報 申請情報

キーワード入力 登録番号でも検索できます。

NOT検索 ※NOT検索に入力したキーワードを持つデータは検索から除きます。

全文検索 ※初期設定は全文検索です。以下の項目を選択すると選択した情報項目だけの検索を行います。

概要 新規性及び期待される効果 施工方法 施工単価 適用条件 適用範囲

検索する新技術の登録No.、技術名称が分かっている場合はこちらから検索してください。

登録No. ※登録No.は「KT-08*」のような検索も可能です。(「KT-08*」は関東地盤に2008年度に登録された新技術を意味します。)

技術名称 ※技術名称は、部分一致で検索します。

検索オプション ※必要な項目のみ選択、入力してください。

評価情報等 事前審査 試行実証評価 活用効果評価

都道府県 ※都道府県は、開発会社の問合せ先(技術)の住所に対して検索を行います。

開発会社 開発年 ~ (半角入力。例:1997)

開発体制 単独(産 官 学)
 共同研究(産・産 産・官 産・学 産・官・学)

特許の有無 実用新案の有無

技術の区分 工法 材料 機械 製品 システム

キーワード 安全・安心 環境 情報化 コスト 品質 景観 伝統・歴史・文化 リサイクル

歩掛の有無 標準歩掛 暫定歩掛 協会歩掛 自社歩掛 支援施策技術

比較する従来技術 ※「比較する従来技術」はキーワード検索です。 連絡のとれない技術

このシステムはInternet Explorerの文字サイズ「小」で開発しております。 プライバシーポリシー / 著作権等について

Copyright 2004, New Technology Information System All Rights Reserved.

ブロックⅢ(準備)

検索した新技術概要説明情報にある「詳細説明資料」というシートをクリックすると様式3がダウンロード出来ます。

新技術概要説明資料の画面

上記※印の情報と以下の情報は申請者の申請に基づき掲載しております。申請情報の最終更新年月日:2018.09.11

概要	従来技術との比較	特許・審査説明	準備・施工方法	問合せ先への対応	詳細説明資料
副題		区分	機械		
分類1					
概要					
① 何について何をやる技術なのか?					

様式3がダウンロードできない場合

タスクバーの「Internet Explorer」アイコンをクリックし、「ツール」(歯車ボタン)→「バージョン情報(A)」をクリックしてInternet Explorerのバージョンを確認して下さい。
※様式3がダウンロードできない場合の対処方法は、P.15～20を参照して下さい。

バージョン11の場合

P.15～20を参照し、対処して下さい。



ブロックⅢ中項目、小項目について(参考)

安全性／耐久性／品質・出来形

大	中	小(以下)	③申請技術について実証により確	④従来
安全性 <small>※労働安全衛生法上の安全性等は含まない。</small>	構造		技術によって得られる成果の構造、システムの安全性やその成果を利用する場合の安全性について項目立てして下さい。	
	施工段階 <small>※仮設工については施工段階の安全性は含まない。</small>	作業員に対する事故等の発生 第三者に対する事故等の発生	様式2の留意事項②施工時において、施工時に安全性に関わる留意事項を記載した場合、その記載事項を項目立てして下さい。 ①に留意事項の内容を具体的に記述する。⑧は自社基準、自社規格などとする。⑦は施工計画書・安全管理等にし、安全性に関して実証できるデータを記載して下さい。 施工時に安全性に関わる留意事項がない場合は、事故等の有無に関する事項を記述して下さい。 また、材料や製品の技術においては、項目立てするのは難しいと思いますので、記載がなくても構いません。	
耐久性	物性	材料の強度	完成物や製品自体の耐久性及びそれらの造成に係わる機器などに新たな工夫や部分がある場合、それらについてそれぞれに確認した内容を記述して下さい	
	形状			
	能力			
品質・出来形	材料	材料の規格()	材料や製品の品質、施工に係わる施工管理、完成物に関する出来形管理など、基準に照らし合わせて項目立てし、記入して下さい。	
		材料の規格()	新技術に関して、従来技術の基準そのものではマッチしない様な場合、又は基準を代用するような場合は、代用しても構わないという根拠を具体的に示して下さい。	
		配筋	よくある質問 【Q】二次製品なので、製品の品質基準を記載しました。現地製作である従来技術とは根本で品質管理が異なると思うのですが、比較はどのように記載するのが良いのでしょうか？ 【A】大きく分けて2通りの定義があります。一つは、結果的な数値・単位等が同様の場合、従来品の品質管理基準等を記載し、数値等を定量的に表現する場合と、もう一つは全く違う品質管理方法で、数値・単位とも違う場合、その結果が従来品の品質管理基準の内容・方法と置き換えていいものなのか否かが記載されている書物等の案内も必要になります。	
	施工	現場打ち水路(製品挿付)	成立性の確保に必要な関連工種等に関する確認も必要になります。 また、製品や材料の技術であっても、その製品や材料を活用することにより、施工に影響があるのか否かを具体的に記述して下さい。 従来と同様であるので問題ない等の表現ではなく、同じであれば同じ事を確認した内容を、必ず記述して下さい。	
		モルタル目地		
	完成物	基準高	土木共通仕様書をはじめ、各基準が明確になっている項目、出来形管理に関する項目を具体的に挙げて、記述して下さい。 また、新技術の性質上必要となった項目があれば、追加して下さい。	
		厚さ		
		幅		
		延長		

施工性

施工性	合理化	工程	様式2で記載した内容と関連するように項目立てして下さい。 また必要であればそれ以外の項目も追加して下さい。 様式2では文字数の制限や、読みやすさの点からも、詳細な記述をしにくい側面があります。それらの記述事項に対し、ここで詳細を説明して下さい。	
		現場条件	作業空間	様式2:活用の効果の内容を、記載します。日数や時間で定量的に比較出来ると思います。
	適用範囲	搬入路条件	様式2で記載した内容に沿って新技術の施工に係わる具体的な現場条件を項目立てし、記述して下さい。 例えば実証により確認した数値等などへの記述の場合、関連機材の設置ヤードなど、事例として挙げた施工量に対し、何メートル×何メートルが必要である等のように、客観的に規模が分かるようにして下さい。 従来と同様などの表現は避けて下さい。	
		ヤード条件		
	自然条件	被断勾配	様式2で記載した内容に沿って記述して頂くと、分かり易いと思います。	
		魚道幅	様式2で記載した内容に沿って記述して頂くと、分かり易いと思います。 また基準等に関わりのある条件がある場合は、現行基準値等に具体的にその基準を記述して下さい。	
	施工管理	天候	共通仕様書などにある施工管理項目を記述し、それぞれに対して確認して下さい。 製品・材料に関しての技術の場合であっても、それに変わったことにより施工に影響がある場合があります。このようなことを考慮して、施工に係わる内容を記載して頂いています。	
		気温		
	難易度	熟練工への	新技術の施工など取り扱いに関する難易度、熟練度について記述して下さい。 例えば、取り扱いに永い経験が必要な場合や、重機や調査の上で必要な乗り物などの免許、危険物などを取り扱う資格などがある場合。 また、従来は職人に頼っていたものがパソコンなどのシステムにより、経験を要さず従来と同等の施工が可能になった場合などについても記述して下さい。	
	環境	社会環境	河川利用者への安全	

ブロックⅢ中項目、小項目について(参考)

環境

環境	社会環境	河川利用者への安全				
	作業員環境					

社会環境、作業員環境、自然環境などの点から新技術の施工に関して、どのような影響が考えられるか、緩和出来るのか、など、基準があるものは基準に照らし合わせて記述して下さい。

その他(自由設定)

その他(自由設定) *申請内容を踏まえ評価項目を設定して下さい						
その他(自由設定) *申請内容を踏まえ評価項目を設定して下さい						

様式2活用の効果(自由設定項目)で記載した内容を、この欄で記入して下さい。

★区分が**システムの場合**は、下記のような内容も考慮して下さい。

- ハードに関する内容→依存する機器、PCであればその環境、また専用機器となるのかなど
- ソフトに関する内容→解析にあたって準用した式や、その引用もとなど
提供方法が買い取りなのか請負のかなど
OSの種類やバージョンなど
- インフラに関する内容→データのやり取り等に関わる必要なインフラ、また専用回線の設置など
- 成果に関する内容→確実性や頻度、形状と信頼性、保存保管や加工に関する特性など
納品方法や形態など
- フォローやメンテに関する内容→バージョンアップやその方法など
- 熟度に関する内容→技術を成立させるにあたり関係する資格等
(例えば飛行機の免許や無線免許等、必要の有無)
- 関係諸法令等に関する内容→廃掃法への抵触や汚染物質を使うかなど
事前申請の必要なものがあるか否か
- 作業・調査環境に関する内容→持ち出せるものなのか、設置型のかなど
- バリエーションに関する内容

ブロックⅢ(①、③)及び(②、④)について

技術詳細説明資料(様式3)の作成にあたり、下記の要領でまず各項目に対し①現行基準値等、③申請技術について実証により確認した数値等の内容を記述して下さい。内容については、下記の説明を参照して下さい。

①、③のどちらにも記述があってはじめて、②現行基準との比較に「適合」または④従来技術との比較に「同等」などの記述が入れられるはずですが、①、③のいずれかが未記入や「-」であるにもかかわらず、②に「適合」、または④に「同等」などの記述は、**行としてつじつまが合いません。**

評価項目		申請者記入欄			
中	小	①現行基準値等	②現行基準との比較<結果>	③申請技術について実証により確認した数値等	④従来技術
構造					
施工段階		<p>現在、新技术を施工するにあたり、準用すべき基準等を出来るだけ詳細に記述して下さい。</p> <p>基準内容が数値などで表記されているものがある場合は、それも記述して下さい。</p> <p>「所要の数値」や「仕様書に定められた数値」などの表現ではなく、その数値等を具体的に記述して下さい。 任意の工事による仕様書等の場合は、備考に説明を入れてください。</p> <p>工程などの場合、現場条件などにより基準はないと思いますが、従来の積算方法で算出した具体的な日数を記述して下さい。</p>		<p>ここは実証実験や試験施工、計算等で確認された数値などを記述して下さい。出来るだけ定量的な記述をお願いしていますが、対応する基準内容によっては文章による表現である場合もあり得ます。適宜対応してください。</p>	
※仮設工については施工段階の安全性は含まない。					
物性					
形状		<p>よくある質問 【Q】従来技術の基準値ではなく、申請技術の基準値ということで構わなかったでしょうか？ 【A】従来技術の基準値をお願いします。基準自体がない技術の場合、協会・自社基準等で構いません。申請技術の基準で独自のものがある場合は、別項目として記述して下さい。</p>		<p>③への「同等・向上・低下」や「適合・不適合」などの記述は不可です。また、①で基準値を記述した場合は、確認した数値(またはその範囲)を具体的に</p>	

①現行基準値等	②現行基準との比較<結果>	③申請技術について実証により確認した数値等	④従来技術との比較<結果>	⑤申請技術の数
<p>①と③を比較し、その結果を客観的に「適合・不適合」で記述して下さい。</p>		<p>従来技術はもちろん①現行基準値を満たしているはずですが、その数値と③申請技術について実証により確認した数値等を比較し、客観的に「向上・同等・低下」から記述し、その理由も記述できるとよいでしょう。</p> <p>①現行基準値等との比較と同じ内容になる場合もありますが、従来技術よりも新技术の方が誤差が少ないなどの「向上」などもあり得るため、その際は説明書きを入れてください。(備考に記述して頂いても構いません)</p> <p>よくある質問 【Q】申請技術が二次製品、従来技術が現地製作であるため、比較する場合単純に「向上」、「同等」と記載できない内容が多くありました。その場合は「従来技術は～」と記載して構いませんか？ 【A】そうして下さい。また定義が大きく変わる場合、記述しにくい場合は、備考に記述して下さい。</p>		
<p>軸となる①と③の内容に対する客観的な記述をお願いします。</p>				

資料提出前に注意していただく内容として・・・

様式3の作成にあたり、関東技術事務所では申請書類作成マニュアル書き方のポイント等を提供し、資料作成に役立てていただけるようにしています。

ほぼ白紙の状態であったり、下記のような内容の資料であった場合は、確認業務委託業者の確認ができないため、関東技術事務所より修正依頼を行います。

(※様式2で記載された内容(新規性等)については、最低限項目立てし技術が成立しているのかを実証確認されていなければなりません。申請技術に該当しない項目については、無理に記載される必要はありません。)

提供した資料を熟読してもよく分からない点があるようでしたら、不明点を具体的に示して、電話またはメールにて資料送信前、関東技術事務所にお問合せ下さい。

これは資料完成後に、様式3【申請用】を基に作成して頂く資料(様式)です。申請時・資料作成終了前にこの様式で作成しないで下さい。(この様式3【公開用】は、資料作成時確認業務委託業者からメールにてお送りします。)

様式3									
技術詳細説明資料									
項目	内容	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目
1	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要
2	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容
3	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果
4	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題
5	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望

「悪い記載例」

必要に応じて評価項目の追加を行ってください。

様式3									
技術詳細説明資料									
項目	内容	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目
1	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要
2	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容
3	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果
4	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題
5	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望

殆ど「-」ばかりで、詳細説明資料になっていない。

確認した数値等が「同等」や「適合」ばかり。

各行を複製しているだけ。

必要に応じて評価項目の追加を行ってください。

様式3									
技術詳細説明資料									
項目	内容	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目	評価項目
1	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要	技術概要
2	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容	技術内容
3	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果	技術効果
4	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題	技術課題
5	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望	技術展望

様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法



Internet Explorer 11で様式3が表示されない場合、セキュリティの設定変更を行う必要があります。また、貴社のセキュリティ担当者等に、ご確認頂いてから作業をしていただきますようお願い致します。

1 セキュリティの設定変更を行う

※お使いのOSによって、手順が異なります。(例: Win 7)

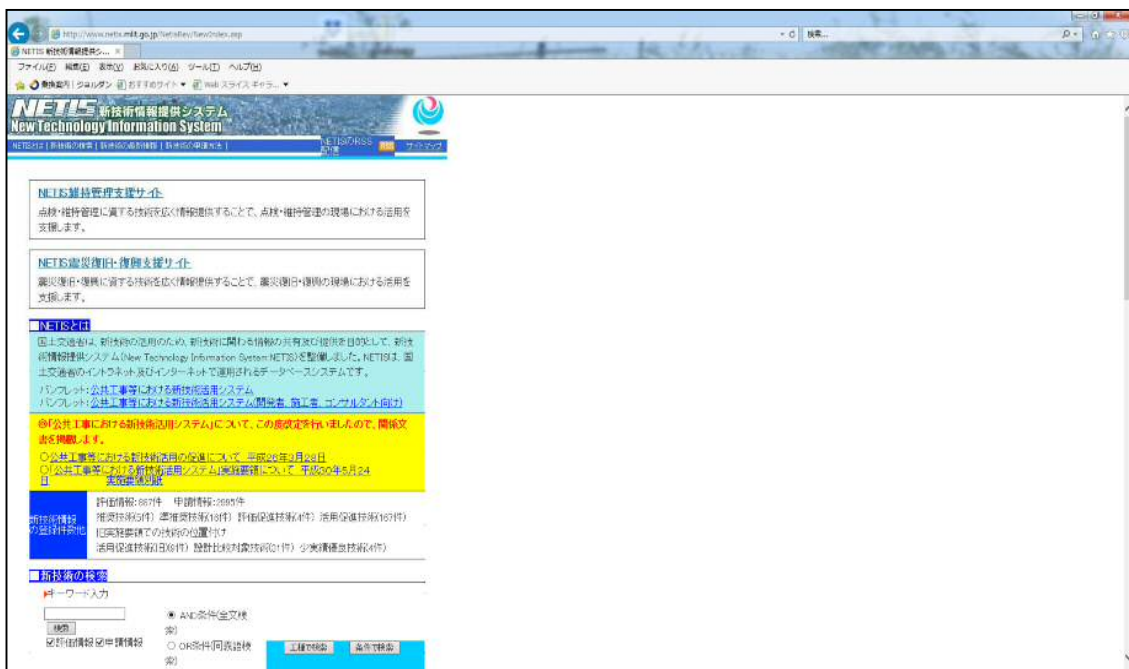
① タスクバーの「Internet Explorer」アイコンをクリックします。



② Internet Explorerが起動します。

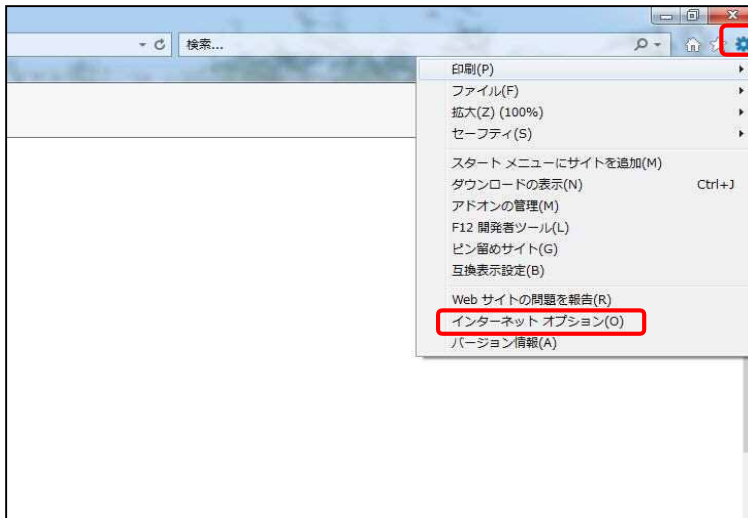
信頼済みのサイトに登録するホームページを表示します。

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>

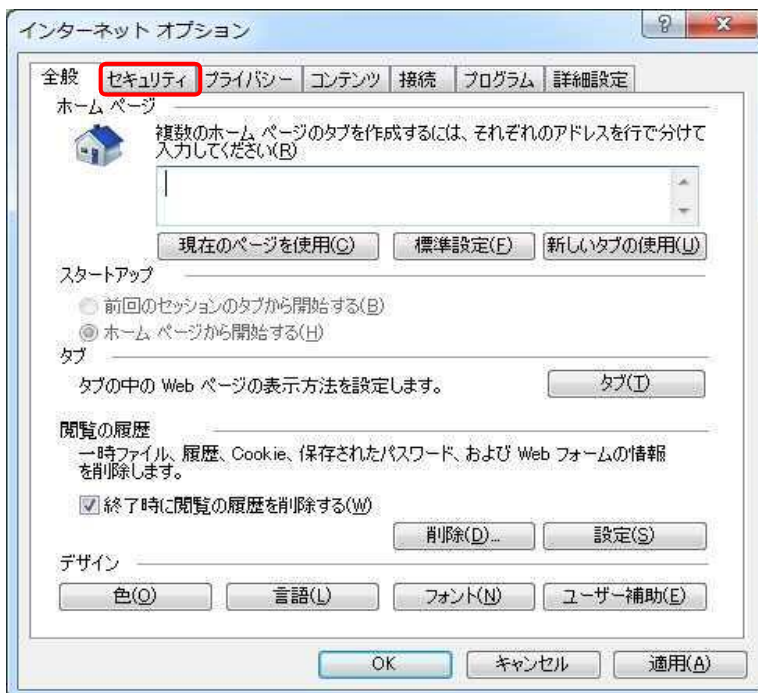


様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法

- ③ 「ツール」(歯車ボタン)→「インターネットオプション」の順にクリックします。

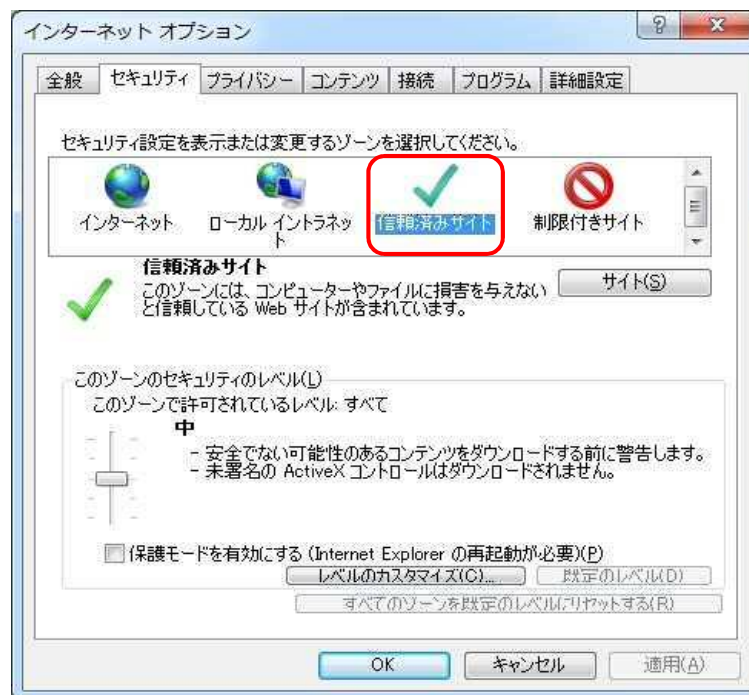


- ④ 「インターネットオプション」が表示されます。
「セキュリティ」タブをクリックします。

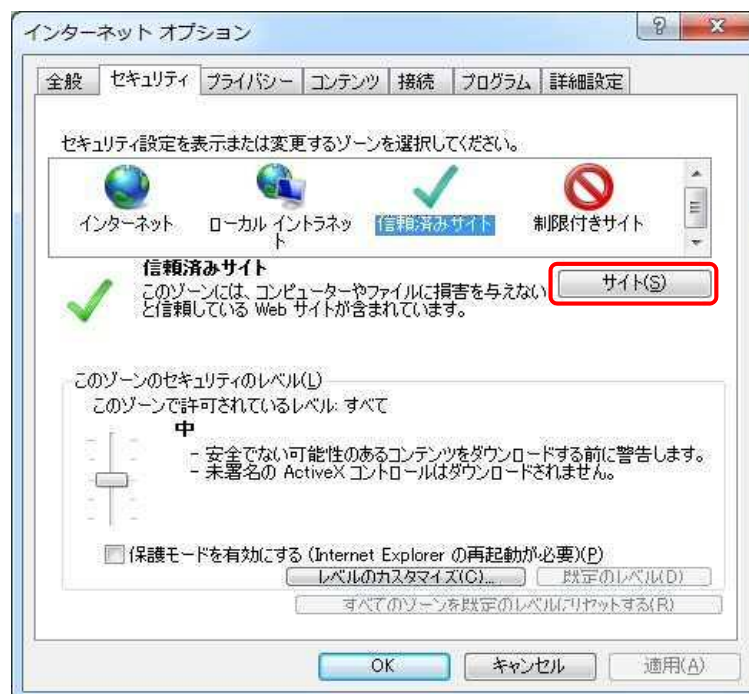


様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法

- ⑤「セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択して下さい。」の「信頼済みのサイト」をクリックします。

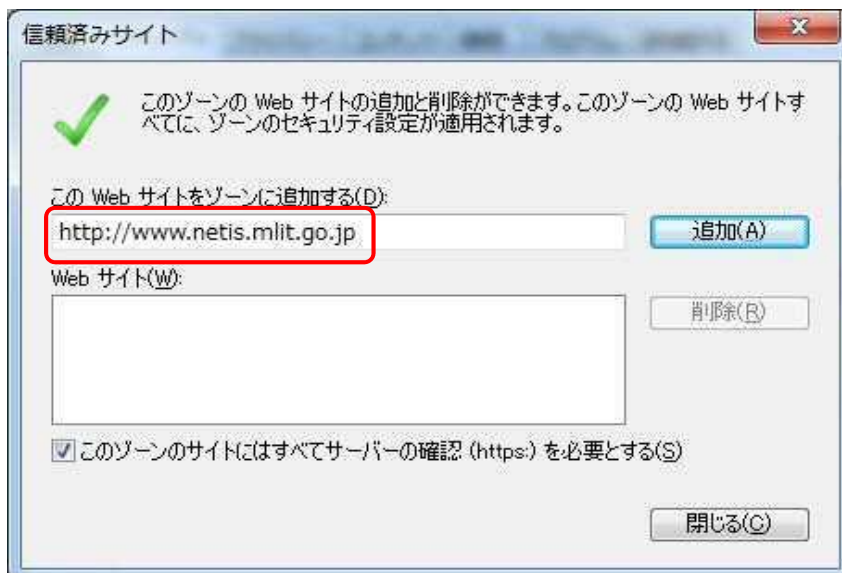


- ⑥「サイト」ボタンをクリックします。



様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法

- ⑦「信用済みのサイト」が表示されます。
「このWebサイトをゾーンに追加する」の下に、登録するホームページのアドレスが表示されていることを確認します。



- ⑧「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)」をクリックし、チェックを外します。

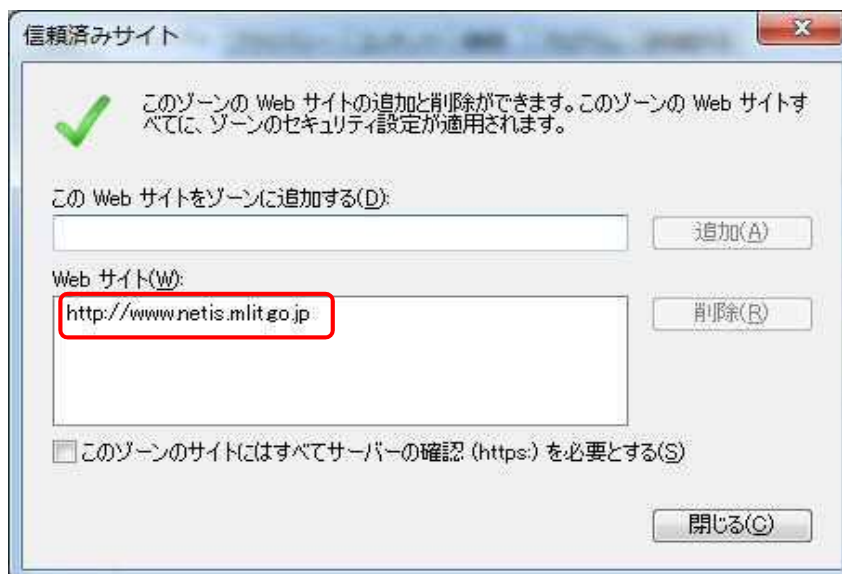


様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法

⑨「追加」ボタンをクリックします。



⑩「Webサイト」の下に、ホームページのアドレスが追加されたことを確認します。

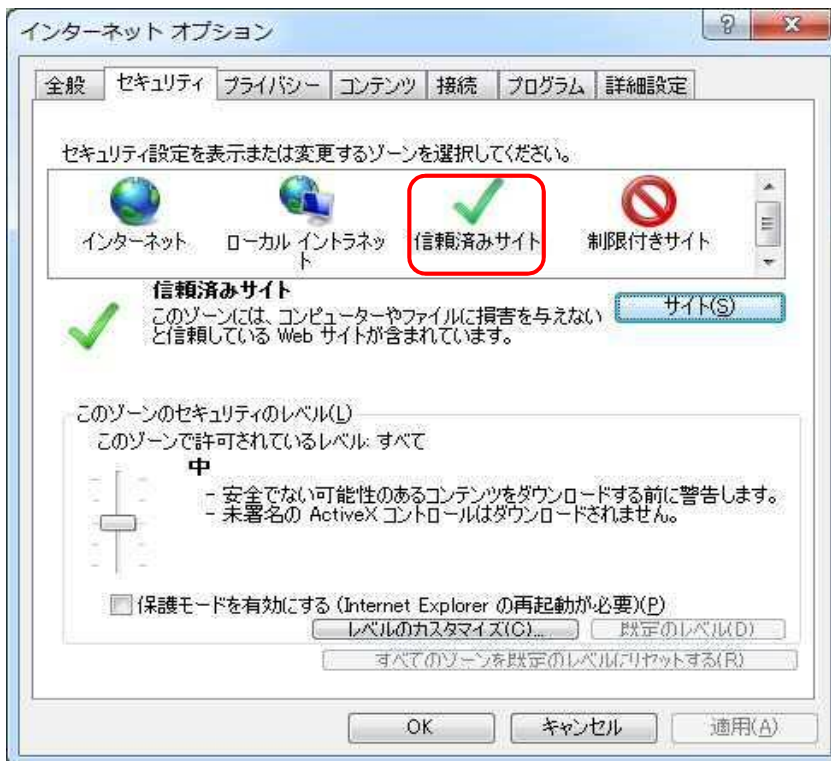


様式3が表示されない場合 (Internet Explorer 11) の対処方法

⑪「閉じる」ボタンをクリックし、「信頼済みのサイト」を閉じます。



⑫「OK」ボタンをクリックし、「インターネットオプション」を閉じます。



⑬「×」ボタンをクリックし、Internet Explorerを終了します。